

学校だより



# 平安

5月号

あったかハートで Hey!安心!!

## あかるく いつも さきに つづける

学校長 伊藤 みつみ

令和8年度がスタートして1か月が経とうとしています。4月初めの朝会に全校生にあいさつの大切さについて話しました。次のような内容です。

平安小学校には、地域の方がたくさんの応援をしてくださっています。1年生の下校の時に地域の見守り隊の方にお会いしました。まちのあちこちに立って、皆さんの安全を守ってくださっています。保護者の方、地域の方、先生、友だちなどたくさんの人とつながる心のリボンがあいさつです。あいさつを大事にしましょう。

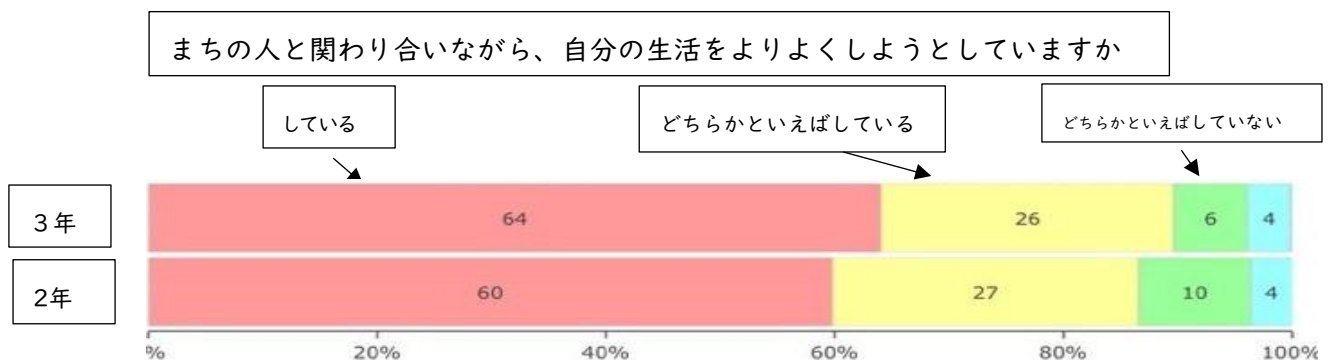
「あ」は、明るくあいさつをしましょう。笑顔は何よりも人の心を明るくします。はつらつとした声と笑顔で元気を届けましょう。

「い」は、どんな時もいつもあいさつをしましょう。朝遅く起きた時や、急いでいるときなど、誰にでも、不機嫌な時はあるものです。でも、あいさつが習慣となって身につけると、あいさつをきっかけに元気が湧いてくると思います。

「さ」は、人より先に自分からあいさつをしましょう。自ら進んであいさつをすることで、人とのつながりが深くなっていきます。受け身ではなく、先に行動する精神を大切にしたいと思います。

「つ」は、あいさつを続けましょう。何事も継続が大切です。4月に限らず、年間を通してあいさつの習慣をつけてほしいと思います。

1年生が、生活科の学習で校長室を訪れ、モルモットを見たり、校長室の窓から見える景色を自由に楽しんだり、好奇心いっぱいの姿を見せています。下のグラフは、昨年の学習状況調査の生活科に関する設問に対する結果ですが、横浜市の平均と比べて、「している」と答えた児童が多く、今年の2,3年生が生活科の学びを通して人と関わり、自分をよりよくしようとしていることがわかります。



人と進んでかかわる姿勢が、3年生から始まる「鶴見ふるさと科」の学びの土台となり、自ら地域に発信する充実した学びをめざしたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。